

カリキュラム概要

マルチメンター制による研究指導		
M1	M2	D1 D2 D3
学位審査・修士号取得		学位審査・博士号取得 博士課程修了要件46単位以上修得 (修士課程修了要件30単位以上)
●修士論文指導 (10単位)		●博士論文指導 (8単位) ●卓越論報 (2単位)
① 数学力 ② 統計力 ③ モデリング力	●基礎科目 (4単位) ●専攻教育科目 ●指導教員が指定する他専攻 又は他学府の授業科目 ●トランジション科目* *数理学府以外の学生が選択可能 等	
④ 共創力	●数学共創モデリング (4単位) 他分野の研究室で学ぶ 共同研究 等	●共創力強化インターン シップ (4単位) 国際/異分野/産学
⑤ 創発力		●数学創発モデリング (2単位) 他分野の研究室で共同研究 リバースメンター

※カッコ内は必修単位数

マス・フォア・イノベーション
プロフェッショナル

求める学生像

学部での数学の基礎学力がそなわり、さらに高度で広範な数学の知識獲得や自らの研究の推進に意欲をもつ学生を求めます。特に、高度に発達した現代数学等の理論の探求に興味をいだくとともに、数学を通して異分野や社会における課題にも挑戦して、さらに新たな知見を加えんとする意欲のある学生を求めます。

学生募集予定人数

12名程度

学生の所属する専攻

数理学府 数理学専攻

システム情報科学府 情報学専攻、情報知能工学専攻、電気電子工学専攻

※情報学専攻及び情報知能工学専攻は、令和3年4月に情報理工学専攻に改組予定

経済学府 経済工学専攻

△ アクセス



- **博多駅からの案内** 所要時間 約45分～60分
地下鉄で行く (博多 → 九大学研都市 → 九大理学部前)
西鉄バスで行く (博多駅前A → 九大理学部前)
- **福岡空港からの案内** 所要時間 約50分
地下鉄で行く (福岡空港 → 九大学研都市 → 九大理学部前)
- **天神からの案内** 所要時間 約40分～45分
地下鉄で行く (天神 → 九大学研都市 → 九大理学部前)
西鉄バスで行く (天神ソラリアステージ前 → 九大理学部前)

△ 問合せ先

マス・フォア・イノベーション卓越大学院事務支援室

〒819-0395 福岡市西区元岡744

九州大学伊都キャンパス ウェスト1号館A-413

電話 092-802-4355 FAX 092-802-4354

E-mail gpmioffice@jimu.kyushu-u.ac.jp

<https://www.gpmi.kyushu-u.ac.jp>



九州大学卓越大学院プログラム

マス・フォア・イノベーション 卓越大学院プログラム

Graduate Program of
Mathematics for Innovation

～数学モデリングで共創・創発する
プロフェッショナルの育成～



九州大学

ご挨拶

本学では、「新たな境界領域」の創出・発展に向けて、独自の「ダ・ヴィンチプログラム」という修士・博士一貫の文理横断型学位プログラムの枠組みを構築し、マス・フォア・イノベーション卓越大学院を最初かつ先導的パイロットプログラムに位置付けています。本プログラムでは、優れた『数学力』を基盤とした『モデリング力』と、組織や分野の垣根を越えることができる『共創力』を活用・駆使し、新たな境界領域を開拓・イノベーションを創出する『卓越した数学博士人材』を育成します。この本学の最重要大学院プログラムにより、「我が国における大学院改革を推進・先導」し、「産業数学の潜在力を引き出すことで世界の社会や産業を発展・牽引」していきます。



九州大学総長 石橋 達朗



プログラム責任者 長田 博文 (九州大学大学院数理学研究院 研究院長 / 九州大学大学院数理学府 学府長)

AIやデータサイエンスの活躍が日増しに活発化する現在、それを支え、そして超えるための学術基盤として、数学・数理科学や統計学への期待がどんどん高まってきています。しかし、数学を駆使して産業界や諸科学分野に出でゆき、様々な場面で社会や人類の課題解決に貢献できる人材は、残念ながら我が国では極めて少ないのが現状です。九州大学では、これまでの数学・数理科学における教育研究の実績をさらに飛躍させ、文系を含む多様な専門領域の教員が参画する形で、数学をもとに様々な分野で花開く数学博士を育成します。社会が必要としている数学人材となって、世界中があっと驚くようなイノベーションの創出を目指す、若い学生の皆さんのチャレンジに期待しています！



プログラムコーディネーター 佐伯 修 (九州大学マス・フォア・インダストリ研究所 所長)

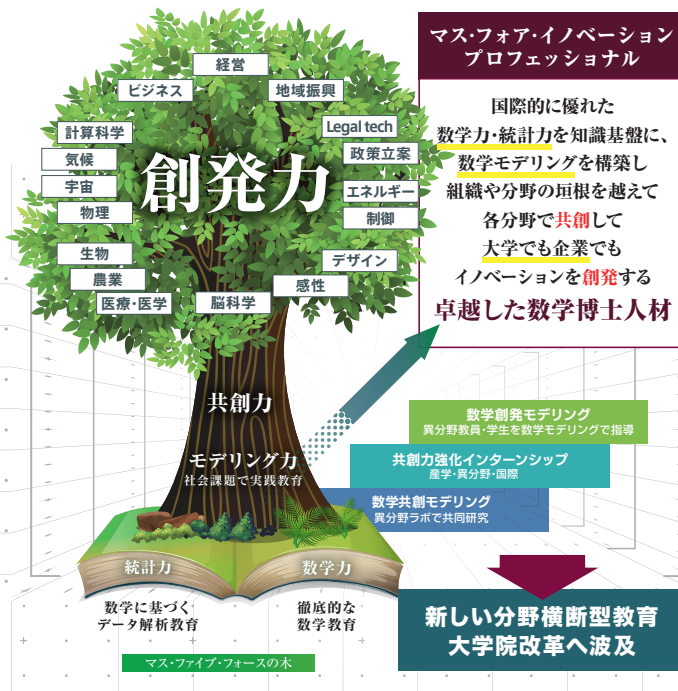
卓越大学院プログラムとは

「卓越大学院プログラム」は、文部科学省が2018年から推進している大学院改革プログラムで、新たな知の創造と活用を主導し、次代を牽引する価値を創造するとともに、社会的課題の解決に挑戦して、社会にイノベーションをもたらすことができる博士人材の育成を目的とする事業です。

マス・フォア・イノベーション卓越大学院プログラムの概要

昨今の数学に対する社会からの強いニーズに応えるべく、「数学力」「統計力」「モデリング力」「共創力」とそれらを総括した「創発力」を備え、産業界や諸科学分野の研究者と共創して、数学を用いて社会を変えるイノベーションを創発することができる、卓越した数学博士人材「マス・フォア・イノベーションプロフェッショナル」を育成する、分野横断型の修士・博士一貫5年制大学院プログラムです。

マス・ファイブ・フォースを備えた高度数学モデリング人材を、分野横断型プログラムで育成



マス・フォア・イノベーションプロフェッショナル
国際的に優れた数学力・統計力を知識基盤に、数学モデリングを構築し、組織や分野の垣根を越えて各分野で共創して大学でも企業でもイノベーションを創発する卓越した数学博士人材

数学創発モデリング
異分野教員・学生を数学モデリングで指導
共創力強化インターンシップ
産学・異分野・国際
数学共創モデリング
異分野ラボで共同研究

九州大学ならではの特徴ある取組

「卓越社会人博士課程制度」

「卓越社会人博士課程制度」は優秀な学生を修士修了後に企業が採用し、同時に社会人学生として博士後期課程に進学させ、博士号取得後は企業に戻るというものです。これにより、学生の経済的支援、キャリア構築、産学連携強化等、複数の課題を一挙に解決できます。連携先機関の富士通研究所で既に準備が進められており、今後、他企業にも広げ、本学はもとより我が国の学生の博士離れを食い止めるとともに、産学の人材の環流にも資するものとして普及させたいと考えています。

日本初! 卓越社会人博士課程制度 博士離れを解決する革新的新制度導入

修士修了後、企業が採用、同時に
社会人として博士後期課程に進学

- ✓ 経済的支援、キャリア構築、産学連携強化、
大学・企業間人材往還促進等、複数の課題が一挙に解決
- ✓ 富士通研究所を中心に連携実績のある
他企業とも協力、本卓越大学院で日本初の制度化へ
- ✓ 毎年3名に制度適用を目指す

海外著名研究者の
クロスアポイント
による任用

九大および海外機関での研究指導
海外クロスアポイントメント
(2019年から実施)



マス・フォア・イノベーション卓越大学院

企業共同研究資金

学内DC共同研究員制度

総長裁量経費等

九大独自の取組
学位論文テーマに沿った共同研究を民間企業と主体的に行いながら共同研究費によって経済的支援